



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



令和2年8月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
8 月号
2020年
No.212

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

国際社会と連携『人権型デジタル社会』主導へ

志公会「政策提言 2020」

「コロナ第二波」対策にも言及



国際環境が急激に変化する中で、日本のリーダーシップを強調した麻生太郎志公会会長

7月16日、「志公会と語る夕べ」が開催され、麻生太郎会長から「政策提言2020」が発表されました。甘利明氏が座長を務める志公会政策提言2020検討チームの提案を取りまとめたものです。

そして、これは日本政府の政策方針である「経済財政運営と改革の基本方針2020」（骨太の方針）にも非常に強く反映されています。

志公会は、国民の生命財産安全を守り、時代の変化に合わせた政治を行うため、政策集団としての本来の役割を全うしていきます。



志公会事務局長として、実行委員長・司会を担当

麻生会長は、コロナ問題に関する国民への感謝の弁の後、コロナにより大転換した国民生活に言及され、デジタル化の必要性に言及するとともに「変化に対応できるしなやかさ」と「変化を創り出したたかさ」の重要性を謳われました。その上で、急激な国際環境の変化に言及、日本のリーダーシップの重要性を訴えました。

そして、『幸い、日本には底力があります。戦後の復興、数々の災害からの復興。苦しい中でも常に顔を上げ、歯を食いしばり、前に進み続けてきた先人の足跡に思いを致した時、「我々にも出来ないはずがない」、そうした矜持が芽生えます。我々は常に額に汗し、努力する人の味方でありたい。誰にでも何回でもチャンスがある自由な日本を、そして、挑戦する人が報われる社会を、今こそ構築する時です』とあいさつを締めくくりました。

その後、提言をまとめた甘利明座長がコロナ問題に関する現状認識を述べた後、第二波に対する準備に言及、一元化された司令塔の必要性和システムの重要性を訴えました。その上で、個人の自由・プライバシー及び民主主義を守る価値の大切さに言及し、国際社会と連携した『自由・民主・法の支配をベースとした人権型デジタル社会』を日本が主導し創り出すという強い意思を示しました。

松本純は、志公会事務局長、「志公会と語る夕べ」実行委員長及び司会として、会の開催を主導しました。また、国会対策委員長代理として、今回の提言が確実に反映されるように国会の運営を支えサポートしてゆきます。

なお最後に、先月号でご報告の通り、会の開催にあたり、東邦大学医学部教授で日本感染症学会の館田一博理事長監修の下、適切な感染症対策を徹底したことをご報告します。



<https://www.jimin.jp/covid19/>
自民党新型コロナウイルス
緊急支援特設サイト

いま地域で
(人・まち・出来事)

伝統ある「生業」を守ります

有限会社岩沢石材店 代表取締役
横浜石工事業協同組合理事長 岩澤 要一さん(金沢区)



横浜石工事業協同組合 岩澤理事長

金沢区六浦の岩沢石材店は、古都・鎌倉に近いという土地柄から、お寺や神社との繋がりが深く、墓石や記念碑、石塀、敷石、石垣等の石工事を請け負う仕事を生業にしています。老舗の風格ある暖簾を支えるのは4代目、岩澤要一さん(68歳)。先代からの伝統的な技術を受け入れてくださった地域の皆様に「店は支えられてきました」と話します。しかし「先代から学んだ事は技術だけでないんです」とも。「石の仕事は、後々まで長く残るため、いい加減な仕事ができないんです」。どんなに精魂込めた仕事でも、自然鉱物の石は、後から亀裂が入ったり、割れるトラブルが稀に発生する。そんな時、依頼主が補修で構わないと言っても、造り直すことを辞さない姿勢を、岩澤さんは先代から引き継いできました。「仕事は嘘をつかない。それが伝統を守ることに繋がります」。岩澤さんが、最近取り組んだのは自身「最後の仕事と思える」古刹・龍華寺(金沢区洲崎町)の100mに及ぶ石塀新築。造園業、左官業、瓦業の顔馴染みの業者と連携し、元請けとして工事全体を統括しました。「一人では出来ない仕事は皆で力を合わせ連携する。それが時代の要請だし、若い世代へこの仕事をつなぐ布石でもあると考えています」。笑顔で語る岩澤さんは、横浜石工事業協同組合の理事長としての表情も垣間見せてくださいました。

【2020年7月】

松本議員の活動記録

- 2日●財務省説明(令和元年度決算税収、決算概要等)
- 厚生労働省説明(新型コロナウイルス感染症で見えてきた社会保障の課題等)
- 3日●社会保障制度調査会役員会
- ウェルフェア・フォーラム
- 6日●日本薬業政治連盟挨拶
- 愛知県薬剤師連盟挨拶
- 7日●自民党役員会

- 自民党役員連絡会
- 8日●厚生労働省説明(薬価の中間年改定等についての状況の説明)
- 自民党神奈川県支部連合会緊急国会議員会議
- 10日●予算委員会与党理事懇談会
- 東京都薬剤師連盟挨拶
- 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長説明
- 16日●日本薬剤師連盟挨拶



7/3 ウェルフェア・フォーラム
●福祉社会総合研究所の和田勝代表主催の「ウェルフェア・フォーラム」で講演し、自民党国対委員長代理の立場から、第2次補正予算の成立などの説明をしました。



7/12 まつたけ会
●野毛地区の松本純後援会「まつたけ会」例会が4か月ぶりで開かれ、通常国会で59本の提出法案中55本が成立し、93%が成立出来た事などの国政報告をしました。



7/15 遠山清彦衆議院議員挨拶
●神奈川県で公明党から挑戦する遠山清彦衆議院議員がご挨拶に来訪されました。衆院平和安全法制特別委員会審議時代に共に与党理事を務めた同志です。



7/16 日本薬剤師会連盟挨拶
●日本薬剤師連盟山本信夫会長、岩本研幹社長、神谷政幸副会長から新型コロナウイルス感染症による薬局経営への財政支援等について説明・要請を受けました。

永田町日記

「来年度予算案の方針」政府に提出される

来年度予算案の方針を決める経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)が自民党で取りまとめられ、政府に提出されました。今回の骨太の方針では、コロナ問題による世界的な環境変化に対応すべくリモートワークなどのデジタル化に対する取り組みを拡大、寡占化する巨大プラットフォームに対する国際ルール作りにも積極的に取り組んでおります。

また、コロナ問題で大きな問題となったサプライチェーンのグローバル化による日本の脆弱化問題に対処するため、国内の製造回帰への支援や国の根幹にかかわる医薬品、医療、食の安定供給、頻発する自然災害への対応のためのインフラ強化を行う事も盛り込まれました。コロナで見てきた日本の脆弱性と社会変化に対応するため、そして、これを機に改めて日本を再構築するための予算方針となっています。



経済財政運営と改革の基本方針2020について